祭事暦

11月1日・20日　午前8時30分
月次祭
11月３日　午前８時30分
明治祭
11月15日
七五三祭
11月23日　午前10時
新嘗祭

相模

発行所
寒川神社社務所
〒253-0195
神奈川県
高座郡寒川町宮山3916
電話　代表0467(75)0004
編集責任者　水谷智賢
印刷所　㈱さんこうどう

神宮司廳 提供

鎮守の森

第六十二回式年遷宮斎行、富士山の世界文化遺産登録に伴い、再び神社が注目を集め始めています元来神社は、その地域で一番良い場所を選び建てられておりますので、様々な種類の良い気を発していますパワースポットブームが一過性になってしまったのは、単に訪れただけで、良い気を感ずる事無く真の御利益を得られなかったからではないでしょうか今だからこそ、しっかりと御利益を自分のものにして頂きたいと願っております▼私達に「気分が良い・悪い」「気が合う・合わない」といった表現があるように、神社にも御祭神や鎮座地の環境などによる「気」の違いが有るはずです。しかし、文明に頼り切っている現代人は、自分の感性で感じ取ることができなくなっています▼心を落ち着かせて余計なことを考えず、本殿前に立ち深呼吸、瞼を軽くおろす暫くそこに佇み余計なことを考えず、五感を研ぎ澄ませ、自然の中に身を置き、肌で触れて、匂いを感じ、空気を味わい、木々の触れ合い小鳥のさえずりを耳で感じ、最後に瞼をあげ、境内をご覧になって下さい。その後もすぐには帰らず、ゆっくりと境内を散策して、自分に合う場所を発見することが重要です▼気の感じ方は、人によって違います。参拝を続けていると、必ず自分に合う神社が見つかります探し方のコツは、ほかの人の意見やガイドブックを過信せずに、あくまでも自分の感性、感覚を信じて自身で判断することです▼現代人は、「心が弱い」などと云われております。一人で悩み苦しみ落ち込む前に、自身の体調も含めて何かおかしいと感じ始めた時、「転ばぬ先の杖」的に、また今ひとつ乗り切れず後押しが必要なときなど神社へ。これが達人への足掛かりとなるやもしれません。（水谷智賢）

遷宮で　結ぶ人の輪　心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

第六十二回 神宮式年遷宮斎行

二十年に一度の神宮式年遷宮遷御の儀が、皇大神宮（内宮）で十月二日、豊受大神宮（外宮）では五日に斎行されました。

祭儀には勅使として手塚英臣掌典長が参向し、黒田清子臨時神宮祭主をはじめ鷹司尚武神宮大宮司以下百数十名の祭員が奉仕し、清澄の浄闇の中厳かに執り行われました。また、遷御翌日の奉幣の儀には池田厚子神宮祭主以下の奉仕により天皇陛下からの幣帛が新宮に奉られました。

この両宮の重儀には利根宮司も参列し荘厳な雰囲気のなか拝礼致しました。

御社殿をはじめ、神々の御装束、神宝に至るまで全て新しく造り替えられ、瑞々しく蘇り生命感に満ち溢れております神宮は、大御神様の御神威も更に新たまり尚一層輝きを増しています

遷宮は、日本民族を生命の原点に立返らせ、文化伝承の在り方を説き、常に生成発展を遂げてきたことを示す、我国の国柄の歴史そのものなのです。

▲豊受大神宮 遷御

▲参列される勅使

▲川原大祓　(画像提供 神宮司廳)

❖初穂曳に参加

伊勢の神宮で斎行される神嘗祭に合わせて、伊勢市にて行われる「初穂曳」に入澤役員他職員二名が奉仕させて頂きました。

遷座された直後の初穂曳という事で、市内は大変な熱気を帯びており、大雨にもかかわらず、皆で心を一つにして、新穀を奉納し秋の稔りに感謝致しました

伊勢神宮・近江神宮 参拝旅行のご案内

◎期　　日：平成26年3月2日(日)～4日(火)
◎募集人員：150名（定員になり次第締め切ります。）　バス5台
◎参 加 費：47,000円　交通費・宿泊代・食事代・傷害保険料 伊勢神宮御神楽料等一切含みます。

日次	月日(曜)	行程	宿泊地
1	3／2(日)	6:30出発 各地より＝8:30出発 寒川神社＝浜松市内(昼食)＝17:30頃到着 伊勢神宮外宮(自由参拝)・せんぐう館＝鳥羽【宿泊】	【鳥　羽】鳥羽シーサイドホテル
2	3／3(月)	7:30出発 鳥羽＝伊勢神宮・内宮【正式参拝】・おかげ横丁(昼食・買物)＝17:00頃到着 近江神宮【正式参拝】＝びわ湖鮎家の郷＝雄琴温泉【宿泊】	【雄琴温泉】びわこ緑水亭
3	3／4(火)	8:15出発 雄琴温泉＝(奥比叡ドライブウェイ)＝比叡山延暦寺／東塔(根本中堂・大講堂)＝(奥比叡・名神・東名阪・伊勢湾・東名)＝岡崎市内(昼食)＝焼津さかなセンター(買物)＝19:00頃到着 寒川神社＝各地へ	

◎お申込み・お問合わせは 寒川神社 0467(75)0004へ

・今回は遷宮が奉仕された木の香も新しい新宮に参拝致します。また、旧正宮も並び建つ姿を目の当たりにすることが叶います。

売店・レストラン新築工事 上棟祭執行
―鎮守の杜「Ｋｏｙｏ（紅葉）」と名称も決まる―

第二駐車場の南側にて工事が進められております売店・レストラン新築工事も順調に作業が進捗し、去る十月二十日、上棟祭が厳粛に執り行われました。

また、この建物の名称も鎮守の杜「Ｋｏｙｏ（紅葉）」と決定されました。

この後は内装工事が進められ、十二月初旬には一階が売店、二階がレストランのガラス張りの施設が完成される予定で、参拝後の和やかなひと時をお過ごし頂く癒しの空間が出来上がります。

工事期間中は皆様にご迷惑をお掛け致しますが何卒ご協力をお願い申し上げます。

▲鎮守の杜「Koyo（紅葉）」完成予想図

今月の祭事

明治祭

十一月三日（日）

明治天皇のお誕生日にあたるこの日に、近代日本の建国発展にご尽力なされた明治天皇の聖徳大業を仰ぎ皇室の弥栄と国家国民の繁栄をお祈りします。

新嘗祭

十一月二十三日（土）

新穀をはじめ、今年収穫された農作物等を神前にお供えし、本年の豊作への感謝を神に捧げる祭典です

新嘗祭への御奉納承ります

新嘗祭に際し、皆様方の報恩感謝の真心を、御神前にお取次ぎ申し上げます

米・酒・野菜・果物・花・魚・菓子等の奉納を承りお名前を記名し御神前にお供えいたします。

尚、お酒の奉納（奉献酒）は、一升二千円にてお受けいたします。

❖神嘗奉祝祭斎行

遷座の儀が行われた伊勢の神宮では、十月十五日より十七日にかけて神嘗祭が斎行され、今年収穫された新穀が、桧の香も芳しい新宮にお遷りなられた天照大御神に奉られ、一年間の御守護と五穀の豊穣に感謝の念が捧げられました。

この祭典を奉祝し、寒川神社でも「神嘗奉祝祭」が厳粛に斎行されました。

❖人形感謝祭斎行

去る十月十五日、人形奉斎殿にて人形感謝祭が斎行されました。

日本では古来より〝大切にされた人形には魂が宿り持ち主の災禍を肩代りしてくれる〟との信仰があり丁寧にお焚き上げするという習慣があります。

当日は雨にも拘わらず大勢の方が参列され、役目を終えて納められた人形に感謝の念を捧げられておりました。

【宮　山】
雷　金子 紋彌　殿　外二三　二三、〇〇〇円
馬場　栢沼 邦夫　殿　外二七　二八、〇〇〇円
下　古谷 喜洋　殿　外六四　六五、〇〇〇円
根岸(上)　砂川 弘　殿　外三七　四四、〇〇〇円
根岸(中)　佐藤 征一　殿　外 六　九、〇〇〇円
根岸(下)　石井 進　殿　外五三　五八、〇〇〇円
オリーブの丘　市川 正彦　殿　外 三　一五、〇〇〇円
旭(東)　杉山 光弘　殿　外二二　二三、〇〇〇円
旭(西)　福岡 琢也　殿　外一八　一八、五〇〇円
上合　横溝 貞義　殿　外二七　二八、〇〇〇円
中里(上)　矢野 敏明　殿　外三四　四四、〇〇〇円
中里(下)　矢島 廣　殿　外三九　六六、〇〇〇円
中里(河原)　奥田 嘉男　殿　外二四　二九、〇〇〇円
中里(サザン)　中村 正男　殿　外 四　五、〇〇〇円
宮山南　江川 辰夫　殿　外一〇　一九、〇〇〇円

【一之宮】
鳥井戸2　森口 恭一　殿　外一〇　一一、〇〇〇円
小町屋1~3　高橋 博　殿　外一九　二〇、〇〇〇円
南台畑稲荷前　中嶋 眞一　殿　外 八　八、五〇〇円
富士見町　中村 徹　殿　外 一　二、〇〇〇円
仲町1　藤澤 弘一　殿　外 六　七、〇〇〇円
仲町2　山上 晴彦　殿　外 三　四、〇〇〇円
西1　曽根 利昭　殿　外一八　一九、〇〇〇円
新道　劔持 勝夫　殿　外 七　八、〇〇〇円
笠谷　府川 宗吉　殿　五、〇〇〇円
ソフィアD・E　土方 達雄　殿　外 一　二、〇〇〇円
目久尻　福田 圭治　殿　一〇、〇〇〇円

【東岡田】
久保地　三澤 廣司　殿　五、〇〇〇円
仲町　臼井 英　殿　外 六　一二、〇〇〇円
上町　武田 博　殿　一、〇〇〇円
仲町原　佐藤 判夫　殿　外 四　五、〇〇〇円

平成二十五年
例祭神徳奉賛金奉賛者芳名

平成二十五年の例祭斎行にあたり、氏子崇敬者各位より多くの神徳奉賛金をご奉納いただき厚く御礼申し上げますご奉納賜りました奉賛金は、例祭当日ご神前にお供えし各位の家運隆昌・生業繁栄を祈念申し上げました。

宿1　木村 俊二　殿　外 七　八、〇〇〇円
宿2　鳥海多恵子　殿　外一〇　一一、〇〇〇円
両替　吉田 俊明　殿　五〇、〇〇〇円
東1　禮久 信利　殿　外 五　六、〇〇〇円
東3・5B　石井 正夫　殿　外一七　一八、〇〇〇円
ソフィアA~C　江積 幸博　殿　一、〇〇〇円
上町・下町　三留 春雄　殿　外 七　八、〇〇〇円

【大　蔵】
入町　栗田 馨　殿　外 六　七、〇〇〇円
賞谷台　奥津 肇　殿　外 九　一三、〇〇〇円

【小　谷】
西　松井 博之　殿　外 六　一三、〇〇〇円
東1　三澤 敬機　殿　外 五　六、〇〇〇円
東2　小西 和夫　殿　一〇、〇〇〇円
原1　藤井喜代治　殿　外 八　一六、〇〇〇円

【岡田新町】
南駅前通　三堀 昇　殿　外 二　一〇、〇〇〇円
南1　高橋 進　殿　二、〇〇〇円
南2　金沢 純一　殿　外 一　四、〇〇〇円

【倉　見】
大村(東1)　久保田輝夫　殿　外一二　一三、〇〇〇円
大村(西1)　大和田文男　殿　外 八　一八、〇〇〇円
大村(東2)　安藤 文夫　殿　一、〇〇〇円
大村(西2)　伊藤 定男　殿　外 七　一五、〇〇〇円
才戸(南)　松本 則夫　殿　外七四　四三、五〇〇円
才戸(東)　堤 朝雄　殿　外 七　一二、〇〇〇円
原(南)　脇 政一　殿　外一一　一三、〇〇〇円
原(北)　平 静夫　殿　外一一　一二、〇〇〇円
新町　井上 登　殿　外 四　五、〇〇〇円
南町　平原 麻子　殿　外二〇　一九、〇〇〇円
西町　磯崎 広美　殿　外一九　二〇、〇〇〇円
川端(西)　亀山美代子　殿　外一五　一六、〇〇〇円
桜町(上)　武田 昇　殿　外 四　七、〇〇〇円
桜町(中)　上武 弘道　殿　外 五　六、〇〇〇円

【大　曲】
大曲　鈴木 烈　殿　外四六　四九、〇〇〇円

【田　端】
南町　松本 富雄　殿　外一九　二〇、〇〇〇円
西町　石川 利次　殿　外三四　三五、〇〇〇円
宿町　菊地 伸　殿　外二七　二八、〇〇〇円
東町　近藤 昭雄　殿　外一七　一八、〇〇〇円
神之倉　石黒 宏平　殿　外一六　一七、〇〇〇円

【中　瀬】
中瀬1　小泉 和夫　殿　五、〇〇〇円
中瀬2　中間 鐵郎　殿　五、〇〇〇円
中瀬3　小泉 正美　殿　五、〇〇〇円

【小　動】
小動　市川 幹雄　殿　外三一　三二、〇〇〇円

【講　社】
墨東寒川講　伊藤 國雄　殿　外 三　二〇、〇〇〇円
寒川神社氏子会　澤津 壽道　殿　一〇、〇〇〇円
八王子秦仕講 今治 英而　殿　外二九　五八、五〇〇円

【匿　名】
九一、〇〇〇円

（順不同・敬称略）

平成二十五年 例祭献灯者芳名

平成二十五年の例祭斎行にあたり、氏子崇敬者各位より多数の奉祝提灯のご献灯をいただき厚く御礼申し上げます。

ご献灯賜りました提灯は太鼓橋前に掲灯し、献灯奉告祭において各位のご繁栄とご健勝を祈念申し上げました。

横溝隆義
市川元久
入澤一三
中島啓介
大川静男
㈱市川
神恵苑
長嶋園
豊月堂
㈱阿部
㈱青葉
㈱秋江
㈱髙田
生長園
㈱藤又
㈲松乃鮨
金子　昭
寒川病院
東木材㈱
露木生花
㈱イソダ
㈱梅屋幸
寿重機㈱
㈱結商会
酒井米男

河西工業㈱
一政水産㈱
瀧川園茶舗
㈲鈴野農機
㈱オーカワ
大村紙業㈱
㈱湘南山鉄
㈱永沢興業
㈱カナリヤ
㈲丸井紙店
昭和興産㈱
㈲青木商事
青山大寿司
秋山商事㈱
㈱北岡本店
北村工務店
㈲三沢米店
山一工業㈱
相模興業㈱
㈲寒川建材
㈱シノハラ
㈱アークル
川本工業㈱
髙橋竹材店
㈱コーメー

百崎製菓㈱
㈲田中写真
中沢運輸㈱
㈱サンユー
松井建設㈱
㈱フルモト
㈱ヒラボウ
熊澤酒造㈱
日本精麦㈱
丸髙工業㈱
村松商事㈱
㈱植藤造園
安藤物産㈱
大黒屋製菓
㈱神奈川中宣
㈲カネヤ商会
㈲壁島工務店
㈲喜久屋酒店
㈲飯田材木店
㈲臼井青果店
㈱金庫屋商店
㈱長谷川製作所
㈱工房えむま
寒川町商工会
ほりむら薬局
下里自動車㈱

湘南信用金庫
㈱鈴木製餡所
㈱中島鐵工所
㈱山上工務店
㈱アイネット
㈱竹中工務店
㈱落雁諸江屋
㈲湘南ライン
㈲内野不動産
㈲寒川製材所
㈲香川第一交通
㈱ウスイ植物園
こみね化粧品店
㈲さがみや菓舗
㈲サダコ美容室
㈱金子建材土木
寒川町観光協会
㈲古山看板塗装
ヨシカワ洋品店
森村ケミカル㈱
㈲破魔矢奉製所
鈴木徽章工芸㈱
とんかつ水龍㈲
㈱レスポアール

横浜貨物綜合㈱
㈱さんこうどう
綜合警備保障㈱
千寿会きくの郷
中野設計工務㈱
㈱大島寅次郎商店
㈲寒川公衆衛生社
長嶋福ダルマ物産
㈱ジェイコム湘南
㈱晃和ディスプレイ
㈲協和クリーニング
㈱サンエーサンクス
㈲FLプランニング
アズビル㈱湘南工場
レンゴー㈱湘南工場
㈱横浜銀行茅ヶ崎支店
㈱ダイワ・エム・ティ
㈲ノブ・リライアブル
㈲ボデーショップ浜名
レンブラントホテル厚木
㈱ヒダロジスティックス
門前だんご茶屋九五郎庵
㈱竹澤古典建築設計事務所
㈱グランドライン・マルシゲ
さがみ農業協同組合寒川支店
㈱湘南ビューティブライダル
㈱三井住友銀行藤沢法人営業部
旭ファイバーグラス㈱湘南工場
㈱アサヒファシリティズ横浜支店
㈱アサヒファーマシー一之宮薬局
コカ・コーラセントラルジャパン㈱
日立オートモティブシステムズ㈱厚木事業所

（順不同・敬称略）

平成二十六甲午年 神話ねぶた下絵完成

平成二十六甲午年の正月に神門を飾る「迎春神話ねぶた」の下絵が完成致しました。

今回は、平成十七年「山口祭」より始まった第六十二回神宮式年遷宮の最大の重儀、「遷御の儀」が去る十月に厳粛に斎行され、皇祖天照大御神が新宮に御遷りなられました事を奉祝し、皆様良くご存知の「天の岩屋戸」の物語を主題に、本年青森ねぶた大賞を受賞したねぶた師、北村蓮明氏により製作が進められております。

このねぶたの場面は、天照大御神が天岩屋戸にお隠れになってしまい、闇に閉ざされてしまった世の中を八百万の神々達が知恵を絞り、元の明るい世界を甦らせようと力を合わせた結果、闇を払い夜明けを告げる鶏鳴三声と共に太陽神天照大御神がお出ましになり、光が世に満ち溢れる瞬間を表しており、皆様がねぶたをくぐり、神話の世界へと回帰、追体験して頂くことにより、経済の回復の兆しが見える新しい日本の夜明けに希望を持ち、着実な一歩を踏み出して頂きたいとの願いが込められています。

ねぶたは十二月二十日、神門に掲げられ、来年の元旦午前零時に明かりが灯され初詣に御参拝の皆様をお迎え致します。

ねぶたはその後二月三日迄神門を飾ります。

❖青少年活動だより

寒川神社少年館

―秋のハイキング―

恒例の秋のハイキングを館生三十八名と講師他十六名が参加して、十月二十日（日）実施しました。

本年は昭和天皇の陵墓であります武蔵野御陵と昭和記念公園に行く予定でしたが、生憎の雨により急遽葛西臨海水族園に変更して出発しました。

九時三十分に到着し、早速班毎に別れ観察シートを片手に園内を見学して周りました。マグロが回遊する様子やペンギンの生態をガラス越しに間近で観察したり、エイやサメを素手で触れる体験など様々な魚や海鳥を観察し、改めて私達を含めこれらを育む海の大きさと自然の力を知り得たようです。また、中々見ることの出来ない海の様子を私達に見せてくれる水族園の人達の苦労も垣間見ることが出来ました。

皆とても楽しかったのか家族でまた訪ねたいとの思いを抱き、帰館しました

BS寒川第二団

―秋の稔りを実感　稲刈り実施―

十月十四日、BS寒川第二団の神饌田に於いて恒例の稲刈りを実施致しました

当日は天候にも恵まれ、スカウトをはじめ、団委員・大勢のご父兄の方々にも参加頂きました。

六月に植えた苗は、すくすくと育ち、黄金色に輝く稲穂へと成長しました。神饌田一面に実った稲穂を自らの手で刈りながら、スカウト達は収穫を喜ぶと同時に、自然の恵みを肌で感じることで改めて神様に対する感謝の気持ちを持つことが出来ました。

末社宮山神社例祭斎行

―町内を神輿巡行・神賑行事行われる―

大正時代宮山七町内の小祀を合祀し、宮山の氏神様として篤く崇められる、末社宮山神社の例祭が、去る九月二十九日、役員・総代を始め氏子の方々の参列のもと厳粛に斎行されました

十月六日には澄み渡る青空の下、神幸祭が賑々しく執り行われ、神輿が町内を威勢よく練歩きました。

また、神賑行事も行われ大勢の参拝者で賑わいました。

第三十五回自衛消防隊消火技術大会出場

十月二十一日、第三十五回自衛消防隊消火技術大会が開催され、屋内消火栓操法女子の部と小型ポンプ操法の部に出場しました。

隊員達は訓練の成果を十分に発揮し、安全かつ迅速に安定した操法を披露し、好成績を残しました。

健康手帳 443

がん検診を受診しましょう

宗教法人　寒川神社　寒川病院
健康管理科　滝澤　康之

がん治療の決め手は早期発見にあります。がんは早期に発見し早期に治療することが極めて重要です。近年におけるがんの増加に伴い、がん検診を受診する重要性が増しています。

がん検診の受診方法には様々な方法がありますが、各市町村で実施しているがん検診を受診するのが一般的です。市町村で実施するがん検診には「胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮がん検診」の５種類があり、胃がん検診は胃部Ｘ線（バリウムを飲む検査）で実施します。異常が見つかった場合は胃カメラなどの検査で精密検査を行うことになります。肺がん検診は胸部Ｘ線検査と喀痰細胞診検査の２種類があり、一般的には胸部Ｘ線のみで行われ、痰がよく出るなどの症状がある場合や医師から必要と認められた方について喀痰検査が追加されます精密検査の手段としてはＣＴの検査などで行われます。大腸がん検診は便潜血検査で実施します。便を採取して便の中に血液が混じっているかどうかを検査するものです。便に血液反応が出た場合には大腸の内視鏡検査等で精密検査を行います。乳がん検診は医師による視触診・マンモグラフィ・乳腺超音波検査があり一般的には視触診＋マンモグラフィで実施します。子宮がん検診は子宮内診と細胞診があり、検診では頸部細胞診のみで実施します。

市町村で実施しているがん検診では、料金に対して市町村から一部補助金が出る場合がほとんどです。ただし受診できる条件が定められています。年度内に一度という制限や、胃・肺・大腸・乳がん検診の場合は40歳以上の方、子宮がん検診は20歳以上の方が受診の対象となるといった年齢制限、医療機関ごとに実施しているがん検診の種類が限られている等様々な条件がありますので、ご受診を希望される方は市町村から発行されている健康だより等のパンフレットなどで確認するか各市町村にお問い合わせいただきご自分が受診できる条件にあてはまっているかを確認しましょう。

企業などで実施している定期健康診断や、人間ドックなどにもがん検診と同様の検査が含まれていることがあります。健康診断や人間ドックを受診する機会がある方はご自分の受診内容を事前に確認し不足している項目についてはがん検診等を受診するなど利用できる制度を十分に活用しましょう。職場の健診や人間ドックについても企業や健康保険組合から補助金が出る場合がありますので、お勤め先や加入している健康保険組合等にお問い合わせください

がん検診や健康診断・人間ドックでは実施できる検査方法が限られていますので、自覚症状がある場合や気になることがあるときは、健康診断・人間ドックだけでは原因をつきとめることはできませんかかりつけ医や最寄りの医療機関をご受診いただき医師にご相談されることをお勧めします

人事

◆新採用
〈神　社〉
用務員を命ずる
平成二十五年十一月一日
新垣　盛仁

◆退　職
〈神　社〉
用務員
規則に依り定年退職とする
平成二十五年十月三十一日
井出　彰

〈参集殿〉
願いに依り職を免ずる
平成二十五年十月三十一日
府川　美紀

〈寒川病院〉
看護師
〃
願いに依り職を免ずる
平成二十五年十月三十一日
地主　真紀
石川　理加

〈神恵苑〉
介護福祉士
願いに依り職を免ずる
平成二十五年十月三十一日
加瀬　美穂

神嶽山神苑　行事案内

神楽舞と雅楽の奉奏

◇十一月　十七日（日）
　二十三日（土）
　二十四日（日）
◇午前十一時と午後二時より
※二十三日は午後のみ
約三十分間（雨天時は中止）

◎入苑券を持参の上ご来苑下さい

医療講演会のご案内

とき　十一月二十九日（金）午後二時半～三時半
ところ　寒川神社参集殿　※入場無料（申込不要）
内容　「胃部膨満感（機能性ディスペプシア）の診断と治療について」
講師　病院長　鳴海　裕之
問合せ　電話　〇四六七（七五）六六八〇　寒川病院

冬川俳壇

地祭りの三方に盛る今年米　根岸　君子
豊の秋風にめくれる干し筵　金子　つぢ
水澄みて木綿豆腐の布目かな　飛石　槿花
古雑誌くくる戸口や菊日和　相原　白蕗
間引菜の細き白根の捨てがたし　宮入　つる
首筋の冷えに目覚めし今朝の秋　菅沼うめの
鉄塔の影伸び伸びと刈田かな　倉谷　節子
夕風の抜ける鉄塔秋夕焼け　山本　朝子
野分過ぎ合羽干しある駐在所　菅沼　保幸
星月夜神鼓とどろく遷御の儀　松本美智子
知らぬ間につけて戻るやいのこづち　竹村真砂美
一つ家に二つの所帯カンナ燃ゆ　金指　月光
赤蜻蛉擦り傷絶えぬ膝小僧　伊藤　公一
甚六の老いて食ふだけ大根播く　芹沢　徳光
富士山の肩に沈みし今日の月　松村　信篤
空稲架に人肌ほどの日のぬくみ　岡田風呂釜
草紅葉夕日の畦に残りけり　浦野　房子
廃屋に断り栗を拾ひけり　岩田美代子
しばらくはひと間をとられ菊作り　露木てる子
新米を我が家の神へ供へけり　皆川志んご
曼珠沙華人の通らぬ土堤曲がる　四ツ車梢月
末枯（うらがれ）や口先だけは衰えず　天沼　子平
伊勢詣神引っ越しの秋の宵　原野　楽天
もてなしの味噌汁うまし芋の秋　三輪　恭子

十一月　手水舎奉掲

新米を　神にささぐる　今日の日に
深くもおもふ　田子のいたつき

昭和天皇御製

相模詠草

外暑し朝から廻す扇風機あなた頼りとスイッチ入れる　山口　幸子
風もなく日差し強き昼下り音すらも無く時の止まれる　山根喜美代
送り火の白煙くの字を描きつつゆっくり上るをじっと見つめる　亀山　文子
「敗戦」を何故「終戦」と命名せしか誤魔化し戦後はここより始まる　安藤　慧
盆迎え七年経ちしも夫好みき「シャルメーヌ」の曲懐しく聞く　川島恵美子
盆棚を今年は出せぬと嘆く吾に息子夫婦の飾りてくるる　天利　春枝
夕焼の空をあおぎて庭散歩蝉のなき声心はげます　三留とく子
待ちわびし一日の雨がその朝秋めく風を残しゆきたり　堀江　照子
福島の復興支援の桃届くしたたる果汁に思わず笑顔　宮治友美枝
久々の雨に潤う木々の花凛と生命の輝きて見ゆ　徳江　道子
最後まで夫の看取りをと望みしも我の力の及ばずなりぬ　宇田川時子
たっぷりの水飲み干して庭の花元気いっぱい真夏日に咲く　土屋トミ子
突然に異常気象の襲いくる日本列島どこもかしこも　浜田　寿子
にぎわいし海は静まり波荒き夕べの海よ夏も果つるか　岡元　芳子
今朝の供華と挿す秋海棠葉のうらに空蝉一つすがりてをりぬ　杉本　照世
かさかさと枯葉舞い散るローカルの駅舎に初冬の風の吹き抜く　瀧本三重子

編集後記

表紙写真説明

木の香もかぐわしく、神聖感あふれる内宮新御正宮

「第二回寒川みんなの花火」が今月の九日に開催される

約六百発、僅か十五分の花火だが、地道な募金活動等の成果であり、秋の夜空とみんなの心に大輪の花を咲かせる

（尚）